

令和元年 10 月 28 日

瀬戸内市議会議員

瀬戸内市議会議員 厚東 晃央

### 政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期間	令和元年 10 月 26 日～27 日
研修会名	第 20 回広島県保育団体合同研究集会
開催場所	26 日 広島市東区地域福祉センター（広島市東区東蟹屋町 9-34） 27 日 広島都市学園大学（広島市南区宇品西 5-13-18）
研修目的・内容	26 日 基調フォーラム ○子育て・保育・教育の現状とその背景 ①保育・子育ての困難が大きい ②子どもが主体的に育つ保育ができなくなっている ③規制緩和中心の待機児童対策と保育料無償化の問題点 ④処遇改善と増員で保育の質の拡充を ○広島県内の保育アンケート報告 ○放課後児童クラブの報告 ○広島県内自治体からの報告 ・市内の私立保育園で総勢 100 名求人したが、応募は 30 名だった。（呉市） ・無償化のため保育以外の事務作業が増加した。（福山市） ・民営化がどんどん進んでいる。（廿日市市） ・待機児童は 0 だが、潜在的に待機している児童が多数存在している。（尾道市） ・保育料の独自軽減を実施していた金額が約 32 億あるが、給食費の無償化には活用しない方針を示している。（広島市）



記念講演

絵本 子そだて 自分そだて

講師 あおき ひろえ (絵本作家)

- ・近所の子どもを集めて工作室をしている中で子どもたちの創作意欲を育てることの大切。
- ・子どもたちが自分自身で考え、行動することを小さいころから経験させることが大切。
- ・既成のキット等を使い創作していると独自性はうまれない。
- ・与えられる教育=想像力が育ちにくい
- ・子どものころに想像力を育てることが大切。

27日

講座 B

保育をめぐる あれこれ

保育をめぐる情勢

講師 石川 幸枝 (全国保育団体連絡会副会長)

○教育・保育の無償化

- ・少子化対策として効力を発揮するか
- ・無償化の対象
- ・保育料の無償化なのに給食費は保護者負担
- ・給食費の独自補助を決定している自治体
- ・新制度で教育・保育は前進発展したか
- ・保育を受ける子どもに格差拡大
- ・保育士の処遇改善こそ緊急に取り組むべき
- ・保育の安全確保のためにガイドラインを制定

講座 D

歯医者が考える～口腔機能の発達と離乳食のすすめ方～

講師 西原 泰 (にしはら歯科 院長)

- ・「噛めない子」「噛まない子」について
- ・発達のステップをしっかり踏むことが大切
- ・母乳を飲むための赤ちゃんの口の特徴について
- ・舌の圧による口蓋の成長について
- ・口腔機能・口腔機能発達支援について
- ・呼吸と上顎の成長・口呼吸の害について
- ・口腔と全身筋とのつながりについて
- ・足指の変形と姿勢について
- ・離乳食が始まるまでの抱き方・寝かせ方について
- ・咀嚼と嚥下について

所感

・保育無償化は、各自治体で混乱が起きている。特に民間保育園は事務量の増加など大変な状況であることがわかった。また、無償化を実施したことで、保育士の処遇改善策が後回しになって、保育士の確保が進まない原因となっている。呉市内の民間保育園の求人に対する希望者の少なさに驚いた。自治体独自で保育士の処遇改善策を行っているが、十分ではない。国としての抜本的改善を行う必要があると感じた。わが市でも民間保育園があるので、調査をしたうえで必要な施策を実施する必要がある。

・想像力を育てることや自ら考え行動することを保障するのは、とても大切であると改めて感じた。そのためには安全で安心できる十分な人員配置や十分な広さのある保育室などにすることが必要であると感じた。わが市ではホール保育を行うなど、十分な保育環境を年間通じて確保できていない状況があるので、子どもの発達を保障するためにも引き続き保育園の新設や正規保育士の確保を求めていく必要がある。

・保育時間内の散歩中やプール中の事故が起きている。国も事故防止のためのガイドラインを策定している。しかし、それを実施するための設備や人員配置に対する財政措置が出来ていないことが明らかになっている。自治体だけでなく国に対しても子どもの安全のために財政確保を求める必要があると感じた。わが市でも散歩やプールを実施している。ガイドラインに合うような保育ができるように財政確保を求めていく必要がある。

・わが市では乳幼児健診など子育て支援に力を入れている。歯科医師による育ちを見ていくことで子育てのポイントなどがわかりやすいと感じた。そのため、市でも子どもに対する歯科検診を充実させていく必要がある。